

環境事業団 P C B 処理事業検討委員会議事要旨

- 1 開催日時 平成13年9月7日(金) 15:45～16:30
- 2 開催場所 虎ノ門パストラル本館8階 しらかばの間
- 3 出席者
永田委員長、伊規須委員、酒井委員、田中委員、原口委員、細見委員、益永委員、森田委員
- 4 議 題
委員会の検討事項、今後の検討の進め方について
- 5 概 要
議題について、事務局より資料に基づき説明、主な意見は次のとおり。
 - P C B の卒業判定基準をクリアしたものは、通常の廃棄物として焼却もできることから、残渣処理まで含めたトータルの処理としては、焼却処理も念頭においておくべき。
 - 地域毎にあらゆる対象物を処理できる施設を設置するのはむずかしい。それぞれが得意分野を持ったシステムとすることも重要。
 - 地域の条件を処理事業に適切に反映させることが重要であり、受入自治体からの具体的な要望を、技術の視点からみて地域条件として整理し、その条件の中で委員会として検討することが必要。
 - 当委員会は、具体の建設工事等の発注仕様書まで決めるものではないが、仕様書に盛り込むべき重要な条件を整理することは、委員会の役割。
 - P C B 処理施設の場合、建屋も施設のセーフティネットの重要な部分を担っており、設備的な目で一体的に見る必要がある。
 - 処理方式の評価にあたっては、施設の運転管理の視点も重要であり、作業員の教育、マニュアルなどまで含めた評価手法を考えて欲しい。
- 6 今後の予定
北九州市が、条件付きであるが、P C B 処理事業の着手を了解する旨の考え方を、市議会に対して説明したことを踏まえて、次回とその次の委員会において、北九州事業のケーススタディを行うことを了解。また、今後の委員会を、以下のスケジュールで開催することを確認。

・ 10 / 11 (木)	16:00～19:00	場所未定
・ 10 / 24 (水)	11:00～15:30	場所未定
・ 11 / 9 (金)	9:30～13:00	場所未定
・ 11 / 20 (火)	9:30～13:00	場所未定
- 7 問い合わせ先
環境事業団 環境保全・廃棄物事業部 処理技術室 03-5251-1038